

森村泰昌（もりむら やすまさ）

1951年大阪市生まれ。1978年京都市立芸術大学美術学部卒。1985年に、ゴッホの自画像に扮するセルフポートレート写真を制作。以降、今日に至るまで、一貫して「自画像的作品」をテーマに作品を作り続ける。最近の著書に『美しいってなんだろう』『手の美術史』『Requiem for the XX Century /Twilight of the Turbulent Gods』（SKIRA フランス）など。2007年度 芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。



金沢 21 世紀美術館開館 5 周年記念展 「愛についての 100 の物語」 展 プログラム

森村泰昌&中ザワヒデキ

スペシャル対談

「美術についての 100 の物語」

森村泰昌と中ザワヒデキが、美術史、愛、物語などをテーマに選んだ、合計100点にのぼる美術史上の作品について語ります。

6月7日（日） 14:00-16:00

会場：金沢 21 世紀美術館 レクチャーホール

料金：無料

ただし、「愛についての100の物語」展の観覧券および整理券が必要です。整理券は、当日午前10時より金沢21世紀美術館レクチャーホール前で配布いたします。



中ザワヒデキ（なかざわ ひでき）

1963年新潟市生まれ。千葉大学医学部卒。卒業後眼科医勤務を経て、1990年、CGイラストレーターとして独立。1997年、画素をさらに抽象的な文字等の記号として再構築し、新たな作風に到達、純粋美術家に転身。2000年、「方法主義宣言」を発表し自作を「方法絵画」と命名。2006年以降は「本格絵画」と称し、新作を展開。主な著書に『近代美術史テキスト』『西洋画人列伝』『現代美術史日本篇』、CD『中ザワヒデキ音楽作品集』。

